

# 名古屋・尾張労働災害防止大会 ご案内

令和5年の労働災害による休業4日以上死傷者数は全国で135,371人となりました。この数字は、リーマンショック時の平成21年以降28%増加しており、忌々しき状況で、企業は労働災害を減少させる対策を行うことが必要です。

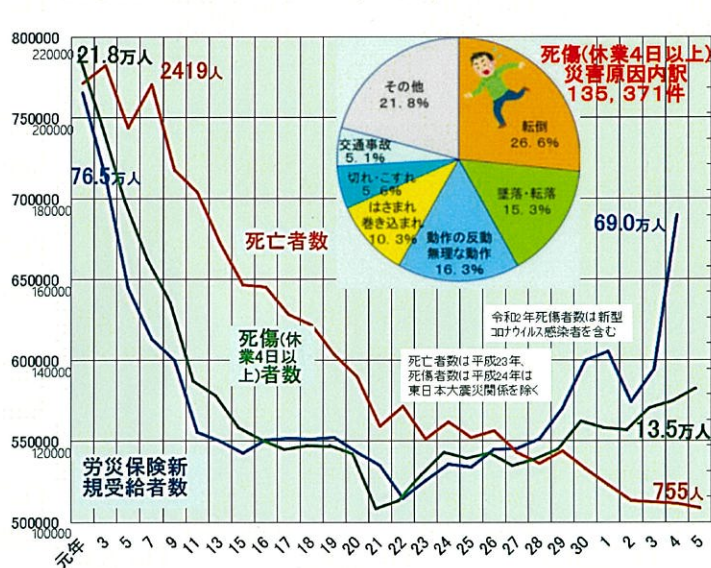
また、発生が懸念される東海、東南海、南海を震源域とする南海トラフ地震では、全国の被害予想は最悪死者32万人、建物全壊238万棟、経済被害220兆円とされています。未曾有の災害は企業にも多くの被害をもたらす、平成23年の東日本大震災ではこの年の全国の労働災害死亡者の56%の1314名が震災関係であり、廃業、長期の休業に至った企業も数多く見受けられました。多くの大都市を巻き込む南海トラフ地震では、企業と日本経済が被る影響は図りしれません。

そこで、名古屋・尾張地区の各労働基準協会では、全業種に向けた労働災害防止をテーマに「労災リスクの低減」「南海トラフ地震に備え産業防災の推進」について焦点を当て「名古屋・尾張労働災害防止大会」を開催いたします。ぜひ、多数の皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

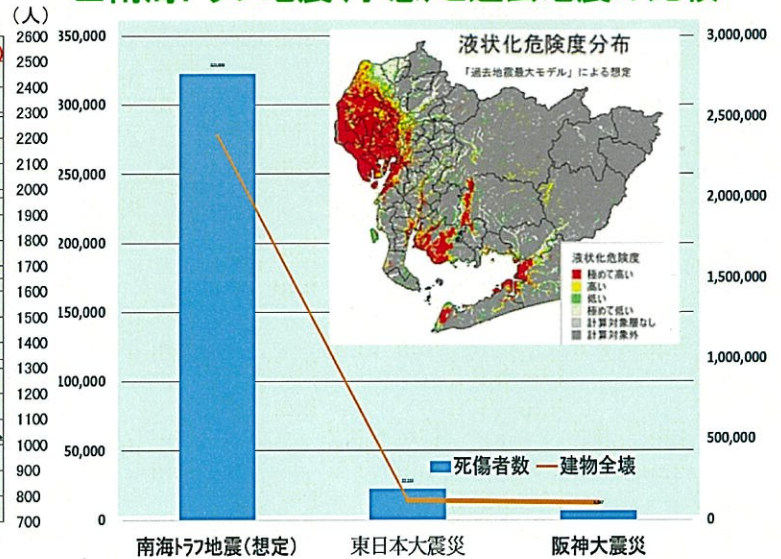


前回大会の様子

## ■労働災害発生状況(全国)



## ■南海トラフ地震(予想)と過去地震の比較



## ■大会概要

1. 日時 令和7年3月3日(月) 13:30~16:30

2. 会場 ウィンクあいち 大ホール

名古屋市中村区名駅4丁目4番38号

※画像・音声が多少不鮮明となりますが、インターネット参加も可能です。  
※インターネット参加はオンデマンド配信です。開催当日のライブ配信ではありません。

3. 対象 事業主、安全衛生・労務人事担当者等

4. 会費 無料 ※資料代1,000円(構内協力会社は資料代も無料となります)

5. 定員 500名(会場定員800名)